

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

平成 28 年度第 5 回 理事会議事録

【開催日時】平成28年10月14日（金曜日）12:30～13:30

【開催場所】福岡サンパレス 4F 第1会議室

【出席した理事】田口敏彦、岩崎幹季、大川 淳、川上 守、竹下克志、種市 洋、
徳橋泰明、永島英樹、中村博亮、中村雅也、根尾昌志、波呂浩孝、
前田 健、山崎正志、山下敏彦

【欠席した理事】島田洋一

【出席した監事】加藤文彦、松永俊二

【議事の経過の要領及びその結果】

田口敏彦理事長は定款の定めにより議長となり、開会を宣言し、直ちに議事に入った。

審議・決議事項

1. 会員審査（7～9月分）

島田洋一理事欠席のため田口敏彦理事長が、資料1に基づき平成28年7～9月度の入退会審査結果を示し、メンバーシップ・コンプライアンス委員会内では全員が承認した旨の報告を行い、議場に諮った。各理事は、慎重に審議し、全員一致でこれを承認可決した。

2. 宿泊費の件

近年大都市圏は宿泊料金が高騰していることから、宿泊費の上限規程の改定に関して審議の結果、25,000円を上限として規程を修正することになった。

3. 新技術における研修システムのあり方とその受講証明に関する提案

新技術における今後の研修のあり方について、企業と学会が連携し、受講証明書は学会から発行するシステムの説明がなされた。一同議論の結果、提案の骨格が認められた。新技術評価検証委員会だけではなくワーキンググループを本学会内に組織して対応する予定とした。規程や申請書など詳細部分については1月の理事会で検討することになった。

4. 女性医師の問題についての担当の件

日本医学会より女性医師支援担当者連絡会の連絡があり、よりよい男女共同参画のための女性医師を推薦する必要があることが説明された。一同検討の結果、関口美穂評議員を担当として推薦することとした。

5. 倫理委員会規約の件

倫理委員会で作成した倫理委員会規約を提示した。各理事は、慎重に審議し承認した。

6. 大正富山 AWARD の選考委員の件

島田洋一理事が欠席のため、田口敏彦理事長が選考委員候補について説明した。一同検討の結果、承認した。

7. その他

・倫理委員会より：パブコメの件

個人情報保護法等の改正に伴う「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の緩和を希望するパブリックコメントの提案がなされた。一同審議した結果、その見直しについて、学会としてのパブリックコメントを作成し、提出することとなった。

審議・報告事項

1. 第45回学術集会監査費用の件

徳橋泰明副理事長が、第45回学術集会の収支報告書案を提示し、小見山公認会計士の監査費用が計上されていなかったため、「学会返金」のなかから支払う予定であることが報告された。

2. 慢性腰痛プロジェクト5症例以上提出個人への安全医療単位付与完了の件

昨年実施された学会プロジェクト「慢性腰痛症に対する薬物療法の臨床経済研究」に参画し、5症例以上の提出した個人へ安全医療単位を付与したことが報告された。

3. 新技術評価検証委員会より

学会主導研究・調査の論文著者に関して

第45回学術集会で発表した新技術評価検証委員会の研究内容の論文投稿の著者に関して、前例通り理事長名を入れず、関わった委員会の新旧のメンバーのみとする趣旨の報告があった。また、当学会会員への謝辞を入れたいとの提案がなされ、承認された。

ACR、胸椎XLIFのガイドライン作成を目的としたWGメンバーの承認

本ガイドライン作成のためのWGメンバーが承認された。

継続調査の予算の件

施設長への依頼書送付に関する費用についての報告がなされ、追加業務として承認した。

4. 教育研修委員会より：教育研修コース昨年度の実績報告

第14回教育研修コースの収支決算の報告と第15回のコースの予定内容ならびに学会本体からの補助金についての説明がなされた。

5. 倫理委員会より：側方進入椎体間固定術施行状況及び手術合併症に関する全国継続調査」の倫理委員会審議結果について

新技術評価検証委員会から申請のあった「側方進入椎体間固定術施行状況及び手術合併症に関する全国継続調査」について検討し、承認したと報告した。倫理委員会で承認された場合、理事会の審議事項ではなく報告事項となることが確認された。倫理委員会で承認された場合、次回の理事会を待たずに審査結果通知書を発行できることが確認された。今回の倫理審査通過の証明については、後日発行予定である。

6. COI委員会より：COIに関する細則の変更、およびCOI審査実施状況等

COIに関する細則の修正案が提示された。定款等検討委員会にて再検討のうえ、理事会で最終承認することになった。また、JSR編集委員会からの要請により、JSR誌への投稿の際に報告するCOI開示様式についても検討することとなった。

7. 専門医制度委員会より：脊椎脊髄外科専門医の基幹研修施設の応募状況

脊椎脊髄外科専門医の基幹研修施設の応募状況について報告された。

8. プロジェクト委員会より：学会プロジェクトの進捗状況について

「慢性腰痛症に対する薬物療法の臨床経済研究」には605例の登録で集計が終了したこと、大阪大学大学院医学系研究科臨床統計疫学の新谷歩教授が新たに解析を担当すること、第46回学術集会で発表予定であることなどが報告された。大阪大学整形外科への事務局移動と解析のための費用の支払いについて説明がなされた。一同審議した結果、支払いを承認した。

9. その他

・診断評価等基準委員会より：インセンティブに関して

研究プロジェクト協力者に対するインセンティブについて委員会での検討議題にしたい申し出があり、一同の承認を得た。

・国際委員会より：アジアトラベリングフェローの食事代に関して

フェローを受け入れた際の食事代の補助に関して提案がなされた。一同審議の結果、支払いを承認した。

・ E 理事会回答一覧

前回理事会以降行われた E メール上の理事会の回答結果が示された。

所要の議事を全て終了したため、議長は、閉会を宣言した。

以 上

平成 28 年 10 月 14 日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 田口敏彦

監 事 加藤文彦

監 事 松永俊二